

自分らしい住まいを考える
ライフスタイルペーパー

愛媛デザイナーズハウス

TAKE FREE

AUTUMN 2022 ISSUE

暮らしに機能と感性を。

Ehime Designers House

vol.
004

【特集】

今、愛媛で気になる
6人の住宅デザイナー

- 001 高瀬昌典 株式会社 住工房たかせ
- 002 織田誠二 株式会社 ヒロ建設工業 (HIROKEN)
- 003 西村和也 株式会社 シムデザインー級建築士事務所
- 004 上田英和 株式会社 アマミホームー級建築士事務所
- 005 石上芳弘 YIA イシウエヨシヒロ建築設計事務所
- 006 湯浅泰明 株式会社 アクティブ・アート

SPC Publishing

大工さんと一緒につくった
おとぎの国のような平屋

子ども室の入り口のアーチから眺めたLDK。小上がりの畳コーナーもあり、南と北に取った窓から光が差し込む



(上)ダイニングテーブル横の窓辺にはカウンターを造作。お家カフェやスタディコーナーなど多様な使い方ができる (下)玄関横には大容量のシューズクローゼット。玄関のニッチに飾られた子どもたちの作品があたたかい空気感を生み出す



洗面スペースは玄関からホールを移動する途中にあり、帰宅時にスムーズに手洗いすることができる



高さを変えられる棚や使い方を想定し、オリジナルで造作したバックセット収納

技ありアーチ壁がかわいい！
自然素材が心地よいデザイン

平屋を建てるにはやや狭いけれど、L字型の間取りにすることで必要な居室を確保。大工である高瀬社長が、施主の「子どもを見守れる家に」という希望を遊び心を取り入れながら叶えた。キッチンに立てば、子ども室にはおとぎの国の入り口のようなアーチが見え、子どもたちの出入りを目配りができる。漆喰壁や無垢材など自然素材が生み出す空気感もやさしい。

■家族4人構成(30代夫婦+子ども2人) ■間取り/3LDK ■敷地面積/209.06㎡(63坪) ■延床面積/98㎡(29坪) ■工法/木造軸組工法 ■工期/6ヶ月

profile



株式会社
住工房たかせ
DESIGNER
高瀬昌典
Masanori Takase

1977年西条市出身。建築関係の専門学校を卒業後、今治市の工務店で4年間の大工修業をし、現場監督を務める。工務店退社後「家具のデザインも手がけたい」との想いから、県立宇和島高等技術専門学校(現:宇和島産業技術専門学校)にて家具・建具の製作技術を学ぶ。2004年創業、07年会社設立。愛媛県PTA連合会の役員としても活動し、子どもを育てる親として、子育ての環境づくりの大切さを日々実感している。

■好きな音楽/BiSH ■趣味/登山、ゴルフ
■特技/木工、料理(魚以外)
■休日の過ごし方/神社参拝、レトロ喫茶めぐり

my rule



清らかな空気感を感じて
身も心も清めるひととき

神社の清らかな雰囲気にも身も心も清められるという高瀬さん。地元の神社のみならず、外出先でも名所に立ち寄ることが多い。



大自然のなかに身を置き
無心で歩を進める登山

休日には、夫婦で霊峰石鎚山など神宿る山々に登る。黙々と歩くことで無心になるそう。登頂後の山メシも楽しみのひとつ。



自分の限界を超えたい！
マラソンへのチャレンジ

これまでに愛媛マラソンを3回完走。「体を動かすこと、チャレンジすることが好きなんです」と4回目の完走を目指す。

works



くらしとごはんリクル



家族が集まる家



古民家リノベーション

株式会社
住工房たかせ

西条市今在家354-10
☎:0898-65-6861
jyu-kobo@diary.ocn.ne.jp

対応エリア: **東予** **中予** **南予** **県外**

対応業務: 住宅・店舗の設計・
工事及びメンテナンス、リフォーム工事
https://jyuko-bo.com

建設業許可番号/愛媛県知事許可(般-01)第16483号
一級建築士事務所登録/愛媛県知事登録第4832号

詳しい情報は
コチラから



WEB

Instagram



message 「得意技を活かしながら、新たなタスクも視野に」

私は生粋の職人。木材の目利きや活かし方には格別の思い入れがあります。ただそれだけではない、暮らしそのものを提案し、サポートするビルダーでありたいと考えています。オリジナルの家具や収納のデザインには特にこだわりがあり、整理収納アドバイザーの資格をもつ妻のあかねが、家中を快適に保つコツをお伝えしています。3年前、夫婦で豪雨災害の復旧ボランティアを経験し、妻は防災士の資格を取得。家族の命を守るための家づくりにも力を入れていきたいと考えています。

大きな吹き抜け 5層フロアが楽しい Library House



本棚に囲まれたスキップフロア。ワークスペースも設けており、おこもり気分で本を読んだり、勉強したりと集中できる空間。家族は個室と共有スペースを上手に使い分けることができる

※SW（スーパーウォール）工法…SWパネルと呼ばれる壁材を張りめぐらせる工法。高気密・高断熱・高耐震を発揮する

大空間をリズムカルにゾーニングして暮らしにゆとりと面白さをもたらす

家族の集まる場所はゆったり、個室やたくさんの本を収納する空間もほしい…家づくりへのさまざまな希望を持っていた施主夫妻。複数の企業を訪ねたなかで、すべてを取り入れたプランを提案してくれたのが織田さんだった。7mもある吹き抜けは、HIROKENが得意とするSW工法[※]があってこそ。その高さから5層の空間を生み出し、スキップフロアのワークスペースを叶えた。



通常の吹き抜けは6mのところ、高い住宅性能により7mの大空間を実現。モミの木などの自然素材を多用するなど、“ナチュラル&シンブル”がこの家のデザインテーマとなっている

2階の個室からロフトへは遊び心ある収納階段で。「これはお子さんのご希望を形にしたもの。施主さまと一緒に楽しみながら、この家づくりに携わらせていただきました」と織田さん

“家事ラク動線”もHIROKENの得意分野。「お客さまが多い」という話を受けて、見せる収納棚、見せないパントリーなどメリハリを効かせて家具を造作



床の間のしつらえも美しい、リビングに面した和室。「リビングそばに収納がほしい」という施主の希望を汲み、この奥に収納があるという仕掛け

■家族6人構成（40・50代夫婦＋子ども4人） ■間取り/6LDK＋3S＋2L ■敷地面積/263.04㎡（79.55坪） ■延床面積/177.20㎡（53.60坪） ■工法/SW工法 ■工期/5ヶ月

profile



株式会社 ヒロ建設工業
（HIROKEN）
DESIGNER
織田誠二
Seiji Orita

1974年今治市吉海町出身。プレカット会社やハウスメーカー、地元工務店に勤務し、木造建築における設計・施工の経験を積んだのち独立。その後、縁あってヒロ建設工業入社。二級建築士、愛媛県木造住宅耐震診断士、整理収納アドバイザー2級。

- 好きな音楽/J-POP
- 趣味/釣り ■特技/剣道
- 休日の過ごし方/子どもたちの時間
- 好きな建築家/吉田桂二
- 座右の銘/今やる、すぐやる、できるまでやる。

my rule



図面を描くシャーペンは自分の手に馴染むものを

「描きやすいものでないとペンが進まないで、シャーペン選びは重要」。手に馴染み、軽くてスムーズな描き味のシャーペンを愛用。



武道で精神統一子どもたちにも伝えたい

小学5年から始めた剣道は、推薦で大学へ進学したほどの腕前を持つ。子どもたちは剣道ではなく、空手に夢中だとか。



故郷・大島の海で釣りをする時間が息抜きに

瀬戸内しまなみ海道の大島で生まれ育った織田さん。実家の前が海ということもあり、子どもの頃から釣り好き。今も時間ができると実家へ帰るそう。

message 「快適に、健康に。そんな暮らしを育む広がりのある空間を」

快適に、健康に暮らしていただくために、開放的でより広がりのある空間の取り方を設計のテーマとしています。そのために必要なのが、性能やご家族の暮らしを落とし込んだ設計。お客様の言葉に耳を傾け、そのひと言が何を意味しているのか。意図を汲んだご提案を心がけています。ご家族にとって一生の選択である家づくりに対し、できる限り不安を取り除けるように。説得ではなく納得していただけるようなご提案で、お客様と一緒に楽しみながら家を創りあげていきたいと思っています。

works



木づかいも美しい和モダンな家



かわいい高性能住宅



心地良いサロン兼マイホーム

株式会社 ヒロ建設工業（HIROKEN）

松山市余戸中1-1-29（余戸スタジオ）
☎：089-904-8007
matsuoka@hiroken1004.com

対応エリア： **東予** **中予** **南予** **県外**
対応業務：高性能住宅・リフォーム・高性能リフォーム、商業施設等の設計・施工・リノベーション
<http://www.hiroken1004.com/>

建設業許可番号/愛媛県知事許可（特-2）第15368号
一級建築士事務所登録/愛媛県知事登録第2564号



詳しい情報はコチラから

“ちょうど良いSPD”を軸にした“パッシブ”・デザインハウス

新しい規格住宅「VITA」は、ちょうど良い
S（サイズ）・P（プライス）・D（デザイン）！

たくさんの家を設計してきた西村さんが、さまざまなクライアントたちの理想を集約して企画した「VITA」。そのモデルハウスでは、家族4人の暮らしにぴったりのプランを提案している。みんなが集いやすい動線を描きながら、それぞれが“居場所”をつくれるゆとりも確保し、家族の距離感も“ちょうど良い”。夏は涼しく、冬は温かいパッシブ設計も標準仕様としている。



リビングには南からの光がたっぷり。大窓だが、庇で夏の日差しは遮り、冬は心地よい光を取り入れるパッシブ設計

「クセなくシンプルにした」という外観。馬張りのサイディング、白い塗り壁に、レッドシダーと木調ドアが目を惹く



(左)ダイニングチェアに腰掛けると、ちょうどいい目線の先に窓があり、会話と景色を楽しみながら食事ができる
(右)キッチンオープンすぎず、ちょっともれるレイアウト。リビング側からはあまり見えないが、キッチンからはリビングがよく見え、正面の窓からもデッキで遊ぶ子どもたちを見守れる



ウッドデッキはリビングと同じ高さに設計しているので、カーテンを開けるとリビングとの一体感が出て、より広さを感じる効果を創出



■モデルハウス ■間取り/3LDK+1S ■敷地面積/140.31㎡(42.44坪) ■延床面積/103.92㎡(31.43坪) ■工法/耐震パネル工法 ■工期/5ヶ月

profile



株式会社 シムデザイン
一級建築士事務所
DESIGNER
西村和也
Kazuya Nishimura

1983年旧北条市生まれ。愛媛電子ビジネス専門学校建築CAD設計科(現河原デザイン・アート専門学校)卒業後、松山市の工務店、ハウスメーカーに勤務。2008年、県内設計事務所に創業メンバーとして入社し13年で300棟を超える家づくりに携わる。21年に独立し、22年6月にシムデザインを設立。二級建築士。

■特技/家づくり全般のアテンド ■趣味/料理、バイク
■休日の過ごし方/ツーリング、ゴルフ、妻とお出かけ

my rule



バイクいじりは
無になれる大事な時間

もともと整備士になりたかった西村さん。時間を見つけては実家のガレージで愛車をカスタム。現在はYAMAHA SR500をはじめ3台を所有。



愛犬豆柴とお散歩タイムで
気持ちをリセット

豆柴のゆず(6歳・女の子)との散歩は毎朝の日課。「考え事をしたり、気持ちをリセットしたり、ニュートラルな時間です」



季節を表現できるミニ盆栽

ふとした瞬間でも四季を感じられ、心落ち着くミニ盆栽。手のひらサイズで洋風のインテリアにも馴染みます。趣深い器もお気に入り。

message 「心の通った、ていねいな家づくりを」

私たちは「ていねいな家づくり」をコンセプトに、設計も現場も、より深くお客さまに寄り添うことを大切にしています。カッコいい設計も大事ですが、それはあくまでも家をつくる過程の一つ。資金計画、土地探し、税金…わかりにくい家づくりの流れを、一つずつアテンドしていきます。これまで300邸を超える家づくりに携わってきた経験を活かし、お客さまのどんな変化球にも応えられるように。あえて得意なデザインは持たず、一緒に好きなものを探し、心の通った家を築いていけたらと考えています。

works



来住の家



水泥の家



菊岡の家

株式会社 シムデザイン 一級建築士事務所

松山市久米窪田町337-1-301
☎:089-993-7480
info@sim-design.jp

対応エリア: **東予 中予 南予 県外**
対応業務: 住宅・店舗の設計・施工、リフォーム工事
https://sim-design.jp

建築業許可番号/愛媛県知事許可(般-2)第18472号
宅地建物取引業許可/愛媛県知事(1)第5662号
一級建築事務所登録/愛媛県知事登録第3308号

詳しい
コチ
ラ
から
情報
は



WEB

Instagram





周囲の田園風景になじむのびやかな大屋根と、洒落たハイサイドライトが印象的

オリジナルの造作も巧みなしつらえ 経年美化も楽しみな住まい

「好きな作家のクラフトに囲まれた暮らし」を希望していた施主。インテリアのデザインも手がける上田さんは想いを汲み取り、施主の“好き”に似合う家づくりを行った。ときには施主と上田さんが一緒に作家の工房へ出かけ、アイテム選びも。そして木や真鍮、石などの素材でこの家を包み込む。多様な素材を活かし、より豊かに過ごせる住まいとなった。



(上)モルタルに掻き落とし^{※1}を施した玄関の床には、木製ドアや新聞受けを組み合わせて。靴べら付スツールや、窓辺に砥部焼の香炉を置いて日常をさりげなく楽しんでいる
(下)床の間に彩るギルディング和紙は、施主と上田さんが大洲の工房へ足を運んで作ったもの



※1…剣山のような先のとがった道具を使い、表面をやや粗めに仕上げる左官伝統工法



施主が帝国ホテルで目にして気に入ったという大谷石で覆ったキッチンには、モダンイズムテイストを感じさせる



この家は素材づかいが秀逸。珪藻土やモルタル、オーク材などが空間をやさしく彩り、ソファやダイニングセットなど作家ものの家具も美しく映える。吹き抜けも圧倒的な開放感

■家族3人構成(夫婦+子ども1人) ■間取り/4LDK ■敷地面積/380.22㎡(115.01坪) ■延床面積/131.24㎡(39.70坪) ■工法/木造在来工法 ■工期/6ヶ月

profile



株式会社
アマミホーム 一級建築士事務所
DESIGNER
上田英和
Hidekazu Ueda

1979年愛媛県生まれ。近畿大学工学部建築学科卒業。同大学大学院修了後、建築設計事務所勤務を経て、(株)アマミホーム入社。一級建築士。アップサイクル愛媛のクリエイティブディレクターとしても活動し、廃材を使ったさまざまなプロダクトや空間も手掛けている。新ブランド「Archi est」の建築家。

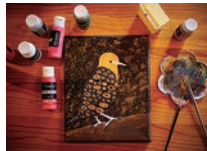
- 好きな音楽/ジャズ、ハウスミュージック
- 好きな建築家/ビジョイ・ジェイン
- 特技/スケッチ ■趣味/SUP、キャンプ

my rule



自然のなかに身を置くと
気づくのは不便の豊かさ

キャンプ、山登り、SUP、自転車など野外での遊びを好む。自然の気持ちよさ、不便の豊かさ気づく機会となっている。



忙しさを忘れさせてくれる
無心に絵を描くひととき

「絵本をつくろう」と思い立ち、スケッチを始めた。クリムトの色彩の世界に惹かれて、華やかな色柄の鳥を描くことが多い。



かつてはDJとして活動
音楽は今も上田さんの一部

DJをしていたことから、レコードをたくさん持っている上田さん。屋外で聞くなど、昔とは違った楽しみ方をしたいと考えている。

message 「空間に“モノ”を織り込み、唯一を生み出す」

家はあくまでも器。人がいて、モノがあって、暮らしが生まれる場です。私の役割は、単に空間をデザインすることではなく、そこで営まれる「暮らし」をデザインすることだと考えています。暮らしにはモノが大きく関わってきます。素材開発やテキスタイルデザインなどのプロダクトを手がけているのも、そんな考えからです。空間とそこに似合うモノを織り込んで生まれる家族のための暮らし、それもお客さまにとって「唯一の暮らし」を提案していきたいですね。

works



GION



TO Residence



木と野花の家

株式会社 アマミホーム 一級建築士事務所

松山市東長戸4-7-41
☎:089-992-9201
info@amamihome.net

対応エリア: **東予** **中予** **南予** **県外**
対応業務: 注文住宅・店舗・施設
https://amamihome.net

建設業許可番号/愛媛県知事許可(般-29)第16187号
一級建築士事務所登録/愛媛県知事登録第3155号

詳しい情報は
コチラから





主庭に面したリビングに梁をめぐらし、レッドシダーの天井は軒まで延ばして連続性をもたせ、屋外感を創出。借景にした田園と庭のグリーンがひと続きとなって丘に見えるよう造成した。手持ちの「Yチェア」に合わせ、家具を職人にフルオーダー

唯一無二の家族にとって 本当の「心地よさ」を追求

ジャズを中心としたDJ、北欧家具の収集など多様な趣味嗜好を持ち、深い造詣と強いこだわりを持つ施主。そのマインドを理解し受けとめ、家に落とし込めるのは、独創性に富み、よりマニアックに“施主にとって心地のいい家”を突き詰めて設計する石上さん以外にいないだろう…そう思わせる家である。施主の希望は「雑木林に住みたい」だったという。建設地は住宅街だが、石上さんは“森”を仮想し、合間に建物をレイアウトしてイメージをふくらませたそう。木目も美しい内装や庭などの巧妙な演出により内と外の境界が曖昧に。樹木のさざめきが視覚からも感じられる。



(上)LDK上部のバルコニーは、子ども棟と親棟をつなぐ空間。完成から1年が経過し、林は順調に成長。家族のプライバシーも守っている
(左)「石上さんの建物にはシンプルさのなかに構造の面白さがあり、そこに惹かれた」と施主。ファサードは開口を控えめに計画。コンクリート壁から中庭の植栽がのぞき、その成長ぶりが楽しみ

(右)趣味でアコーディオンを弾く施主のための書斎兼音楽室は、手持ちの家具のデザインや色味を合わせ、レコード棚を造作。ドアや開口部を防音仕様とし、機能性も考慮している
(下)セカンドリビングは閉じた空間として、降り床でくつろげるつくり。ヘリンボーン床がリビングの雑木林感を連続させており、古材を使った雰囲気のある本棚が映える空間だ



■家族4人構成 ■間取り/6LDK ■敷地面積/323.00㎡(97.70坪) ■延床面積/180.06㎡(54.47坪) ■工法/木造軸組工法 ■工期/設計7ヶ月・監理10ヶ月・庭6ヶ月

profile



YIA イシウエヨシヒロ
建築設計事務所
DESIGNER
石上 芳弘
Yoshihiro Ishiue

1974年松山市生まれ。一級建築士。建築士会正会員。建築家協会正会員。近畿大学理工学部建築学科卒業。同大学院工学研究科建築学専攻修了。設計事務所勤務を経て独立。2021年里山空間デザインコンペ最優秀賞、22年キッチン空間アイデアデザインコンテスト最優秀賞を受賞。15年より近畿大学建築学部非常勤講師。

- 趣味/写真、山登り、海外旅行
- 好きな本/宮本輝の小説全般
- 好きな建築/インドの階段井戸

my rule



mountaineering

「自然が好きなので低い山も高い山も登るのですが、年に1、2度は山岳テントを携えて高い山に登りに行きます」。写真は標高約2,870mのキャンプ地。



step well

インドのジャイプール郊外にある階段井戸。インドでも最大級の大きさで深さは約30mあり、階段が幾重にも重なる様子は壮大で圧巻。



spice Curry

スパイスも調合されていないものを、その日の気分からブレンドしてつくっているそう。こちらはキーマカレー。

message 「家族の現在地を顕在化」

家族の状況や関係性を一筆書きにしたもの、それが住宅建築だと考えています。ですから打ち合わせで理解を深め、施主と助け合う関係性を築いていく過程が大切。設計において心に留めているのは、みんなのマル(○)ではなく、施主にとっての最適解。よりマニアックに突き詰めたその向こうに、みんなが共有できる感覚があると考えています。だからこそマイノリティなものをつくろうとしていますし、施主の個人的な感覚を建築に落とし込めたら、結果いいものがつくれるのではないかと考えています。

works



COCO



HE10



YAMANARI

YIA イシウエヨシヒロ 建築設計事務所

office:大阪府岸和田市阿間河滝町1572
satellite:松山市畑寺4-16-23
☎:072-427-6976
yia@ishiue.com

対応エリア: 東予 中予 南予 県外
対応業務: 住宅、店舗、ビルディング、
リフォームの設計
www.ishiue.com

一級建築士事務所登録/第316056号

詳しい
情報は
コチラから



人と家具が主役になる ミッドセンチュリーデザインが映えるシンプルな平屋



インナーガレージにより雨の日も快適に出入りが可能。外観は「豆腐のようなデザイン」という施主夫妻の希望を活かした



カリモク60のソファのグリーンを引き立てるのは、床や天井に施された落ち着いた色調のオーク材。白い壁との調和がほんのり北欧テイスト



ルイスボールドセンのペンダントとイームズのチェアに合わせたダイニングテーブルは、アクティブ・アートのオリジナルブランド「muku×鉄」のもの



キッチンを中心に、パントリーや寝室、水まわりをくると回遊。収納も適所に用意されている



洗面台は吊りにし、足元を開放させることで、湿気のコもりを解消。シンプルな空間のアクセントは、ブルーのヘキサゴンタイル

カリモク60やイームズなどのファニチャーを引き立たせる「引き算」のモダンデザイン

ミッドセンチュリーの家具が映える、インナーガレージ付きの平屋。愛する家具たちが映える家にしたいと考えた施主に応えたのが、シンプルかつ完成度の高い“引き算”を得意とする湯浅さんだ。木の質感を活かして抑えめにした内装。それでいてキッチンを中心とした回遊式のステキ動線、リビングからつながるテラスの開放感…「一部のスキもない仕上がりが目に浮かび、湯浅さんに依頼することを決めました」と施主。余計なものがいないからこそ、インテリアのアップデートを日々、存分に楽しんでいる。

■家族3人構成(40・30代夫婦+子ども1人) ■間取り/3LDK ■敷地面積/339.38㎡(102.66坪) ■延床面積/145.95㎡(44.15坪) ■工法/木造在来工法 ■工期/6ヶ月

profile



株式会社
アクティブ・アート
DESIGNER
湯浅泰明
Yasuaki Yuasa

伊予郡松前町出身。留学先のニューヨークでインテリアを学び、帰国後日本の建築を改めて学び直す。その後、アクティブ・アートに入社。二級建築士、インテリアコーディネーター。

- 趣味/靴磨き、旅行
- 好きな本/コミックス、旅本
- 休日の過ごし方/体を動かすこと
- 特技/革の手入れ
- 好きな建築家/ルイス・バラガン、西久保鋭人

my rule



心も洗われる、靴磨き

前職で靴を取り扱っていたという湯浅さん。靴磨きをしていると無心になって、心を落ち着けることができる。



異国探訪

海外特有の文化や価値観に触れることで、唯一無二のコーディネート力をアウトプット。特にスペインが気に入る。



おいしいもの

こちらもスペイン料理は欠かせない。好きな「食」から設計やデザインのインスピレーションを得ることも。

message 「チーム体制で、お客さまに寄り添う」

私たちの家づくりは、設計士・コーディネーター・現場監理など各分野のプロフェッショナルが専属のチームを組み、打ち合わせから施工、アフターまで責任を持ってサポートします。お客さまのパートナーとして、確かな信頼を構築します。またデザインや間取りだけではなく、土地探しや資金計画、インテリア、エクステリアまですべてご相談に応じることができるのも強み。お客さまの家族の一員となったつもりで、どんな小さな不安も解消し、思いに寄り添った家づくりを叶えます。

works



お家に見えない家



NAVY HOUSE



外に閉じ中に開いた家

株式会社 アクティブ・アート

松山市小坂3-4-5
☎:0120-964-322
info@activeart.jp

対応エリア: **東予** **中予** **南予** **県外**

対応業務: 注文住宅の設計・施工、商業建築の設計・施工、住宅・店舗のリフォーム・リノベーション
https://activeart.jp

建設業許可番号/愛媛県知事許可(般-2)11137号
一級建築士事務所登録/愛媛県知事登録2700号

詳しい情報は
コチラから



WEB



Instagram